

平成 30 年 6 月 27 日

各位

株式会社 サンドラッグ
代表取締役 赤尾 主哉

当社取締役会の実効性の評価結果の概要について

当社においては、取締役会全体の機能向上を図ることを目的とし、毎年度、「取締役会の実効性に関する評価アンケート」を実施し、その結果に基づき、取締役会にて、意見交換を実施し、更なる改善に取り組んでおります。

今般、年度評価が完了いたしましたので、以下にその概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

社外を含む全ての取締役及び監査役に対し、記名式にて、事務局作成の「取締役会の実効性に関するアンケート」に基づき、自己評価とともに、記載自由欄を設け課題提案する方法にて、実施いたしました。

その回答集計結果に基づき、取締役会の課題認識の共有化及び実効性・機能性の向上への今後の取り組み対応について意見交換・審議を行い、評価いたしました。

2. 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

当社取締役会は、規模・頻度・時間等はほぼ適切で、昨年度の課題であった資料の早期事前配布並びに事前説明等については、一定の改善が見られ、全体として、実効性は、おおむね確保できていると分析・評価いたしました。

しかしながら、今後の課題としての、(1) 取締役会メンバーに対する、店舗・物流施設など現場運営視察や各種研修トレーニングの一層の強化、(2) 資料の簡素化と視点ポイントの明確化、(3) 中長期的戦略や女性管理職比率引き上げ等についての議論の更なる深耕などにつき、改善余地もあり、実効性の一層の向上に向けた工夫・検討を推進する必要があるとの認識をいたしました。

3. 今後の対応

当社といたしましては、事前資料の更なる早期提供や内容の簡潔かつ明瞭化及びに事前説明の工夫・改善とともに、店舗等現場視察や研修の更なる推進による運営認識の共有化並びに女性管理職育成を含めた中長期的な経営課題や戦略についての議論時間拡大など、今回の実効性評価・提言を通じて得られた課題を踏まえ、引き続き、取締役会の更なる実効性の向上に取り組んでまいります。

以上